

木づかいできてますか？

作って広める木の魅力発信プロジェクト～2024～

北海道旭川農業高等学校 森林科学科2年

青木 陽
土谷 紀裕青柳 漣
山本 楓華菊川 冬惺
吉川 直文

活動の背景・目的

私たち森林循環班は未利用の木質資源を使って製品化し木材の利用価値を高め、物質的にも経済的にも森林循環を活性化させたいという目標を掲げて活動しています。今年度の活動テーマは「使える、使いたいモノづくり」、「体験活動で伝える木のよさ」の2点に定め、活動を行ってきました。

実践内容・成果

実践1 使える、使いたいモノづくり

私達は、今年度の新たな新製品開発を目指し、旭川商業高校の皆さんと協力して市場調査と試作を重ね、枝や小径木を活用した新製品である「森(しん)ケース」と「枝笛」を完成させました。これらの商品は7月に旭川市で開催された「上川圏域木育フェスタ森林の市」での販売を目指して生産し、これまでの人気製品であった木製マグネットガチャに加え、新たな製品をラインナップを追加することができました。

また、旭川市の一大イベントでもある「北の恵み食べマルシェ」での販売依頼もいただき、旭川市のマスコットキャラであるあさっぴ～などをデザインしたマグネットガチャを販売することもできました。



【 森ケース 】
替え芯や印鑑などを収納できる



【 枝笛 】
見た目も音も一点物



【 マグネットガチャ 】

ポップのデザインは
旭川商業高校に依頼



実践2 体験活動で伝える木のよさ

木に触れて加工を体験してもらうことで、木の違いや加工の楽しさの魅力を知ってもらうために、地域産未利用材を活用した木工体験の運営・普及にも取り組みました。

間伐材を利用したキーホルダー作りは今年度新たに家具端材も素材に加え、地域ならではの端材を活用する取り組みに繋がりました。まちなかキャンパスというイベントでは2日間で子ども達を中心に400人以上の方に体験を提供し、秋にはデザイン都市会議の交流行事として海外からの来賓方にも体験いただきました。

木工体験は「手軽に始められる木工の魅力」を伝えるために「100円ショップ素材を用いたDIY」を計画、大人から小学生まで幅広い世代に木工の楽しさを広めることができました。また、現在地元産木材を利用したDIYキットの開発にも取り組んでいます。

【 未利用材を使ったキーホルダー作り 】

●まちなかキャンパス2024：令和6年6月22[土]～23[日]

●ユネスコデザイン創造都市サブネットワーク会議：令和6年10月24[木]



【 キーホルダーの素材 】

- ・間伐材は演習林端材を活用しました。
- ・家具端材は家具メーカーのcosine様よりご提供いただきました。

【 100円ショップ素材を用いたDIY 】

●PTA研修会[大人対象] スパイスボックス作り
令和6年11月14[木]

●永山魅力発見隊[小学生対象] 手提げ木箱づくり
令和6年11月30[土]



林野庁に申請し
ウッドチェンジ
ロゴを刻印



今後の展開

今年度も新たな製品開発や体験活動における新たな試みなど多様な活動を実践し、多くの人々に「木づかい」の意義や、木製製品の魅力への「木づき」を提供することができました。

しかし、生産の安定性における課題や、道産材のさらなる活用など未だ解決すべき課題も残っています。ですが私達は2年生であり、次年度もう一度改めてこれらの課題と向き合い、今年度培った経験と技術、活動の中で得た外部の方々とのつながりを活用し、より無駄なく・もっと楽しい木材利用を広めていきたいです。

